

平成22年度福井県立武生工業高等学校スクールプラン

※校訓、目指す児童・生徒像

・互いに敬愛する ・勤労を愛好する
 ・創造能力を進展する ・健康を増進する

※学校教育目標（方針）

地域を支える「心ある技術者」の育成

- ・地域に開かれ、地域に支えられ、地域に貢献できる学校
- ・ものづくりを通して生徒が主体的に学び、豊かな心を持った生徒を育成する学校
- ・多様な進路志望に確実に対応し、生徒の夢の実現をはかる学校

重点目標

1 教育課程・学習指導・研修 (共通項目)	2 生徒指導 (共通項目)	3 進路指導 (共通項目)	4 保健管理 (独自項目)	5 保護者との連携 (独自項目)	6 図書指導 (独自項目)	7 その他 (独自項目)
教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部	庶務部	図書部	専門教科(工業科) ものづくりを念頭に置いた魅力ある工業教育のさらなる充実をめざす。
<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の実現に向けて、基礎学力の向上に努める。 ・組織のスムーズな運営に努める。 ・情報メディアの効果的な活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の向上と社会習慣・マナーの育成を図る。 ・生徒会の自主的な活動を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を着実に進め、生徒の自己実現の能力を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に努める。 ・環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化を図る。 ・事業の円滑な運営に努める。 ・学校環境の整備と安全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書指導と図書館の利用促進を図る。 ・視聴覚機材と教材リストの整備拡充と利用促進を図る。 	
具体的な取組み	具体的な取組み	具体的な取組み	具体的な取組み	具体的な取組み	具体的な取組み	具体的な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ①学習の目的や規律ある学習態度を身につけさせる。 ②生徒の能力を的確に把握し、わかりやすい授業を行うよう努力する。 ③学校行事日常の活動がスムーズに流れるよう努力する。 ④成績処理システムの構築を検討する。 ⑤ホームページのスムーズな運営方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活の基本的な規律・マナー(遅刻・服装・あいさつ・言葉遣い・特に登下校時の交通マナー等)の指導を徹底する。 ②生徒会執行部の積極的な活動を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体でキャリア教育を充実させ、さまざまな教育活動をキャリア形成支援と結びつける。 ②生徒が自己の能力や適正を理解し自己実現できるよう、さまざまな教科と連携し支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康観察を毎朝行う。 ②ゴミの分別を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①PTA総会や研修会などは、保護者の関心の高い内容を検討し、参加数の増加と活動の活性化を図る。 ②地区での役割(冬季スクールバス事務局、北信越高P連大会)をしっかりと果たし各事業の円滑な運営に努める。 ③営繕委員会を中心に定期的な校舎内点検と整備を行い、学習環境の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①朝の読書を推進するため、「たくみ(学級)文庫」を設置する。 ②視聴覚ライブラリー(教材リスト)の周知徹底を行い、利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> a) 専門教科(工業科) ①環境問題や高齢化などの社会問題に対する意識を高め、環境や人に優しいものづくりを実践する。 ②各科の連携や意思疎通を図るため、工業科会議を必要に応じて開催する。 ③「ものづくり人材育成事業」の自立化、拡大化を図る。 ④実習の安全性をより一層高めるため、実習安全(マニュアル)手帳の作成を検討する。(各科共通) b) 多忙化解消・事務量削減 ①サイボウズ利用の促進を図り、文書量(紙量)の削減と会議の短縮化を目指す。 ②年間行事や会議の見直し・精選を図る。